

4. 主要建設資材の需要動向

(1) セメント

記事提供：(一社)セメント協会

北陸3県における令和7年度第4四半期のセメント出荷状況は前年同期比+6.8%、5四半期ぶりのプラスとなった。特に、石川県の能登地区で災害復旧工事向けの出荷が堅調、大幅増となった。

新潟県

前年同期比▲5.7%となった。柏崎刈羽原子力発電所向けは堅調であるものの、他に大きな案件がなく前年比マイナスとなった。主需要部門別は生コンクリート向け同▲16.0%、コンクリート製品向け同+13.4%、土木向け同+45.6%。

富山県

前年同期比+6.0%となった。降雪の影響があったものの、利賀ダム関連、東海北陸道トンネル関連工事向けなどが堅調である。主需要部門別は生コンクリート向け同▲0.1%、コンクリート製品向け同▲3.2%、土木向け同+52.4%。

石川県

前年同期比+33.6%となった。能登半島地震などの災害復旧工事向けが堅調である。主需要部門別は生コンクリート向け同+31.5%、コンクリート製品向け同+5.7%、土木向け同+59.5%。

セメント出荷量（令和7年度第4四半期）

(単位:t、%)

	令和7年度	令和7年度			
		4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
新潟県	483,596 ▲ 7.9	126,598 ▲ 7.3	131,945 ▲ 5.6	134,162 ▲ 12.0	90,891 ▲ 5.7
富山県	266,650 ▲ 2.2	59,668 ▲ 7.7	72,561 ▲ 1.6	77,864 ▲ 3.9	56,557 6.0
石川県	263,802 11.4	60,356 8.3	64,234 1.3	76,690 8.3	62,522 33.6
計	1,014,048 ▲ 2.0	246,622 ▲ 4.0	268,740 ▲ 2.9	288,716 ▲ 5.1	209,970 6.8

(注) 上段は実績、下段は前年同期比